研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	消化器侵襲的画像診断治療学特論Ⅰ・Ⅲ	河本 博文

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

低侵襲治療のための消化器疾患の診断治療を目的とした Intervention について理解を深め，最新の情報を説明できるよう修得する。

授業到達目標

（1）カンファレンスに参加して，患者の病態を理解し，どの段階でどのような Intervention が適応になるか理解し，説明できる。
（2）最新の文献を読み，研究デザイン，結果を批判的に評価し，さらにそのような文献の優れた点を参考にして，自分の臨床研究に反映できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月	17:00-21:00	河本 博文	講義	[抄読会]	消化器疾患診断，治療に関する新しい話題や英文論文を紹介する。 [場所:総合医療センター 5 階カンファレンスルーム]
2	毎週	木	13:30-17:00	河本 博文	講義	[症例検討会]	入院症例に関する検討会 [場所:総合医療センター 5 階カンファレンスルーム]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）紹介論文の要約について，添削して返却する。
（2）発表時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784758110457, 胆膵内視鏡の診断・治療の基本手技（改訂 3 版）, 糸井　隆夫, 羊土社, 2017

参考書

ISBN-9787883787098, とことん知りたい ERCP の手技のコツ（消化器内視鏡レクチャー1 巻 3 号）, 糸井　隆夫, 総合医学社, 2013
ISBN-9784758110464, 胆膵内視鏡治療-手技の極意とトラブルシューティング-, 小池　和彦（監）, 羊土社, 2012

準備学習（予習・復習等）

（1）最新の論文を読み，知識を修得し，英文および邦文の文献検索を各自で行うこと。
（2）経験した症例についてレポートを作成すること。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卓越した研究成果をあげ，消化器分野の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

最新の英文論文を読み知識を常にアップデートしておくこと。